

## 平成27年度 第2回東区まちづくり懇話会議事録(要旨)

### 1 開催日時

平成27年 9月2日(水) 午後3時～午後5時

### 2 会場

熊本市東区役所1階 101・102会議室

### 3 出席委員(順不同)

澤田委員、松瀬委員、佐土原委員、西原委員、松永委員、古嶋委員、  
水谷委員、穂園委員、山田委員、伊志嶺委員、村上委員、吉田委員、  
竹本委員、松尾委員、宮崎委員、餅崎委員、戸高委員  
17名出席

### 4 議事

#### (1) これまでの取組み実績及び課題の検証について

①東区まちづくりビジョン策定時の地域の課題・・・資料1

②東区まちづくり推進事業の取組み実績及び検証・・・資料2、資料3

#### (2) 次年度以降の取組みについての委員提案について

### 5 閉 会

## 議事発言要旨

### 議 事

#### (1) これまでの取組み実績及び課題の検証について

##### ○会長

議事に入る。「①東区まちづくりビジョン策定時の地域の課題」「②東区まちづくり推進事業の取組み実績及び検証」について事務局より説明をお願いします。

##### ■事務局

①東区まちづくりビジョン策定時の地域の課題・・・資料1

②東区まちづくり推進事業の取組み実績及び検証・・・資料2、資料3  
資料1～3について説明

##### ○会長

事務局から説明のあった「①東区まちづくりビジョン策定時の地域の課題」「②東区まちづくり推進事業の取組み実績及び検証」について確認したい。

資料2について、平成25,26年度は事務局からの提案事業、平成27年度はまちづくり懇話会からの提案に基づく事業とあっていいか。

##### ■事務局

そのとおりである

##### ○会長

平成26年度に、介護予防教室、認知症徘徊模擬訓練モデル事業、東区若手農業者ネットワークづくりが増えているが、これは何がきっかけで取組むことになったのか。

##### ■事務局

介護予防教室、認知症徘徊模擬訓練モデル事業については、まちづくりビジョンの基本方針3の重点的テーマを受けて取組んだ。

##### ■事務局

東区若手農業者ネットワークづくりについては、基本方針5に基づくものだが、熊本市は全国で8位の農業都市であり、東区は都市化が進んでいる割にはしっかりと農業が行なわれている。農業者も市全体の1割を占めている。東区の皆

さんにはこのように農業の魅力を理解してほしい、また、若手農業者もたくさんいるということもあり、ネットワークづくりを行った。

○会長

他に質問はないか。

○委員

前回の懇話会で認知症模擬訓練は年に1校区では間に合わないので増やしてほしいと言ったところ、今後の方向性として次年度以降は希望する校区は自主的に実施ができるようにしたいと柔軟に対応してもらったのでお礼申し上げたい。

○委員

基本方針1（資料3：事業番号6）の「託麻史跡めぐりウォーク」について、課題の部分で「整備不良がみられる」とあるが、今後どう考えているのか。

■事務局

来年度以降も史跡めぐりということで実施していきたいと考えているが、山の中ということで自然のまま残っており天候の具合で遊歩道が崩れていたりする。実施するにあたり、事前にチェックしながら計画を立てていくが、ハード面についても課題があるということで掲げている。今後実施する際は事前に調査したうえで、市区だけではなく商工会等と一緒にできればと考えている。

○委員

パンフレット等を作成して誘致しているが、整備不良部分をきちんと整備しないといけないのではないかと。他の部署と連携して遊歩道等の整備を行ったほうがいいと思う。民有地もあり検討が必要かと思うが、前に進んでほしい。

○会長

今後どうつなげていくのか地元の方々と十分協議して進めてほしい。

○委員

区民のスポーツ交流事業であるが、18校区中、80%以上の参加があり、大変好評と思われる。昨年からは健康まちづくりをスローガンに各校区で取り組んでいると思うが、高齢者の健康づくりとしてグランドゴルフも取り入れてほしい。健康でなければ、様々な事業も出来ない。小学校の相撲大会については、全18校区が参加できるよう進めてほしい。

## ■事務局

ミニバレーは昨年度から実施している。きっかけとなったのは、18校区の体育協会長会議において、区で何か開催しようという話から始まった。グラウンドゴルフの話もでたが、まずはミニバレーで始めることになった。開催後に反省会を行い、次年度以降の取り組みについても協議を行ったが、最終的にはミニバレー以外の意見はでなかった。各校区の体育協会長としては、校区の行事も多く、これ以上の対応は難しいため、ミニバレー1種目開催との意見であった。今年度も開催後に反省会を行うので、懇話会からの意見については、報告させていただく。

相撲大会については、健軍校区が中心となって開催されている。地域の文化・スポーツ活動については、広く参加できるように、区として支援していきたい。

## ○委員

資料1に、課題に対する重点的テーマが記載されているが、基本方針1の重点的テーマ(1)(2)、基本方針4(2)、基本方針5(1)(2)に対応する事業がないのはなぜか。細かく見れば、一斉清掃など様々な面に対応されていると思うが、重点的テーマとして掲げるのであれば、具体的な事業として取り組むべきではないのか。

## ■事務局

地域コミュニティの参加促進については、地域課題検討会等で協議を行い、取り組んでいるところであるが、事業として予算が単独ではついていない。また、地域に根ざした経済の活性化についても、商店街等との連携をしているが、予算化しているものではない。委員の意見のとおり、区としても重点的テーマについては、予算化した事業として取り組んでいきたいと考えているので、次年度以降の事業として検討させていただく。

## ○会長

前懇話会においても、取り組むべき事業について協議を重ねたところである。重点的テーマに対する事業がないとの指摘があったが、様々な事業の中に散りばめられている部分や、課題解決に向けて、まずはこの事業から始めるといった協議結果に基づき設定した事業もある。経済の活性化として、商店街の活性化については、健軍校区の健康まちづくりとして「健康」の部分とタイアップし、農業については、アグリネットの設立支援というかたちで始めたものもある。また、指摘のあったまちの美化活動促進についても重要な部分であり、地域課題検討会でテーマを設定し検討を行うなど様々なかたちで散りばめられており、「事業」として出ていないものもある。前懇話会で協議し、まず、ここから始めたということであり、来年度以降の事業については、委員の皆さんの意見をいただきたい。

予算の枠も限りがあるのでスクラップアンドビルドも必要であると思う。

○委員

東区民まつりについてであるが、平成 25 年度と平成 26 年度の参加者を比べると倍近く増加している。行政主体から住民主体のまつりに移行するとのことであるが、地域の活性化という面から、各地域の持ち回り開催は出来ないのか。

■事務局

この東区民まつりは、区政に移行した際、東区を知ってもらうことを目的としてスタートした。4年経過し、当初の目的であった「東区を知ってもらうこと」も浸透している。また、平成 25 年度懇話会において「区民まつりについて開催当初は区主導となると思うが、いずれは区民主体のまつりとしてほしい」との意見もいただいております、次のステップとして、区民主体の開催へ移行したいと考えている。まずは地域の団体等とも話し合いながら段階的に移行し、最終的に区民主体のまつりに移行出来ればと考えている。

○会長

他に意見、質問がなければ、(2) 次年度以降の取組みについての委員提案に移る。次年度以降の取組みについて意見をいただきたい。また、重点的テーマに対応する事業がないとの意見も踏まえたところでお願いします。

○委員

地域防災合同訓練についてであるが、各校区年 1 回の開催をしていると思うが、18 校区全体の防災訓練を開催してはどうか。校区間の横のつながりが強化され防災意識の向上にもつながると思う。消防署や消防団とも連携し、東区全体の訓練について検討してほしい。

○会長

防災訓練が未実施の校区はあるのか。また、その場合の促進策等はあるのか。

■事務局

校区ごとの防災訓練については、校区内での調整など難しい面もあり、未実施の校区がある。自治会長の集まり等の機会に積極的に案内・説明を行い、何らかの取組みへつなげたいと考えている。

○会長

校区全体で防災意識を高めるため、東区全体での取組みについても検討いただきたい。

○委員

校区全体の防災訓練はいいことだと思う。ただし、自主防災クラブがない町内が2～3町内あれば、そこを統括することが出来ない。全町内に自主防災クラブがあれば校区全体での防災訓練は可能と思う。東区全体での防災訓練ができれば、防災意識も向上し、自主防災クラブがない町内も必要性を感じるのではないか。

○委員

健軍東校区では運動会の競技種目の中で「防災啓発」を取り入れている。色々な道具を競技の中で体験させている。運動会を行っているところなら同じ様に出来ると思う。

先日、防犯に関するテレビ番組を見た。足立区は都内の犯罪件数ワースト1位で、区の取り組みの様子が放映されていた。学校給食の食べ残し調査や自転車の鍵かけ運動、挨拶運動などに取り組んだ結果、挨拶が飛び交うようになり、暗かった町が、明るくきれいに、そして元気が出てきたとのことであった。こういう取り組み方もあると思う。

提案であるが、日常使用する公用車にも「防犯パトロール中」の表示を貼ってはどうか。以前は率先して地域でも自転車のカゴに貼って、防犯運動を行っていたが、最近はそれが廃れてきている。東署管内の犯罪件数も増えており、公用車に「パトロール中」のステッカーを貼って運転してもらおうと効果がでるのではないか。

○会長

防犯関係についても検討したい。

○委員

桜木校区では、9月を挨拶運動月間として、毎朝、7時45分から8時10分まで、みんなで通学路に出て、子どもたちに声かけを行っている。今年で13回目となるが、とても効果があり、子どもたちが明るくなり、地域の元気の源になっている。

○委員

最近、子どもが巻き込まれる事故が多発しており、桜木校区では子どもを犯罪から守る取り組みを色々行っている。1つは、毎年、新1年生に防犯用の笛を桜木自治協からプレゼントしている。また、結果としては途中で断念したが、ある協会から自販機の上に設置する防犯カメラを無料で提供したいと申し出があり、5つの各自治会で通学路にある自販機の調査を行い、場所の特定を行った。

設置している店舗には了解を得て、協会と店舗で交渉する予定であったが、自販機設置の契約形態などが、それぞれ複雑で、調整が上手くいかず、途中でこの話はダメになった。実現すれば防犯に役立つと思う。この協会は大津町などでの実績もある。

#### ○委員

今の話は、熊本市全体でも取り組もうとしたが、設置にかかる費用を飲料水メーカーが協会に支払う仕組みで、実現できなかった。飲料水メーカーが了承しているところでは、実現しているところもある。

#### ○委員

8月に開催されたバスでの区内視察についての感想であるが、横井小楠記念館の館長の説明がとてもわかりやすく、熱く語っていただき印象に残った。館長も言われていたが、横井小楠は有名だが熊本ではほとんどの子どもたちがそれを知らない。東区には立派な記念館や託麻三山もあり、若い方たちがこれから一生懸命やろうという気持ちがあり、とても勉強になった。

平成27年度、東区の歴史学習講座があるが、子どもたちに「こういう立派な方がいたのだよ」など何か教えてあげられるものがないかと思った。子どもたちはシール貼りやスタンプが好きなので、1つの案として、夏休みにスタンプラリーをしたり、託麻三山のコースに参加したらスタンプが押せたり、それを集めて区民まつりに持参すると、小さな賞品がもらえるなど、飲み物1つでもいいので、なにか校区全体で子どもたちが楽しめるような企画があると、子どもたちがわくわくするのではないかと思う。

資料には、「若い世代」という言葉があるが、私たちからする若い世代は、大学生や30代、40代をイメージするが、これからの区を担っていく子どもたちを大切に育て上げるのも私たちの1つの使命だと思う。そういう意味でも子どもたちも楽しめるまちづくりをしていく必要がある。歴史学習講座の中に、スタンプラリーなど子どもたちも参加できる企画をぜひ取り入れて欲しい。

#### ○会長

子育てや健康づくりに関して他に何か提案はあるか。

#### ○委員

東区PTA連絡会では、市PTAの健康安全委員会を担当している。今日の話聞いていて、色々な取り組みがされていてすごいなと感じる。子どもたちにどうやって先々を考える時間を与えられるかを考える。ごみ問題についても

一人一人が意識をしていかないと全体ではできない。小さい時からこれが当たり前と思える指導ができればと考えている。PTAにも持ち帰って、みんなで考えていきたい。

○会長

ごみを出すのは子どもの役割などではできないだろうか。

○委員

家庭によってはされている。子どもに捨てさせてと思われる方もいると思うが、子どもにとってはいい経験になるのではないか。

○会長

個々の家庭で行うと中々難しいと思うが、運動などの取り組みで行うと可能ではないかと思う。子どもにごみ出しマナーが悪いと言われるとこたえると思う。

○委員

ゴミで一番きれいなのは阿蘇。一番汚いのは熊本市。阿蘇は、学校で徹底的にゴミの分別をさせている。子どもの頃からそういうしつけをしておけば、大人になってもきれいに分別する。ぜひ家庭でも、学校でも子どもの頃から分別についてきちんと教え込むといいと思う。

○委員

報告書などを見ても情報を提供していく必要性を感じる。官が得意なところ、民が得意なところの連携が大切。なにが得意でなにが苦手かを具体的にわかると全体的に進めやすい。

情報の発信について、インターネットやフェイスブックを使うことがいいことはわかるが、どこを窓口で発信するのか、情報の集約をして発信していけるところがあるといい。それぞれの事業で発信するのは効率が悪い。全体的に、双方向に発信していければいいと思う。防災でも、モデル事業を発表する会を東区でやったり、そういったノウハウを伝授していくのも大事だと思う。今までの経験をビデオなどで見るのもいいと思う。

○会長

情報交換の場などがあったら、そこで学べるのではないかとということだと思うが、面白い意見だと思う。区民まつりや皆が集まる場で発表しあうのも非常にいい事だと思う。地域課題検討会でごみ問題を検討し、モデル地区で取り組んだ。

その結果を各校区知りたがっていると思うので、発表会等結果を周知する場があるといいと思う。

○会長

次に経済の活性化について何か意見はないか。

○委員

経済活性化は商工会の分野だと思うが、内部でも検討中である。「健康づくり」をキーワードに、皆が健康になれば幸せになる、それをキーワードに健康ビジネスが展開できないか検討している。その中の1つで、託麻三山の八十八ヶ所巡りについて、観光資源の開発ということで、過去にも調査研究をしたり、案内看板をつけたりしている。東区の視察の中で何ヶ所か山の中だけ見たが、実際は全部個人管理で、個人宅の庭先にあるのがほとんどである。不特定多数の方が個人宅に勝手に入ると防犯面の問題もあり、中には嫌な思いをされる方もいるので、観光という面では厳しいと感じている。史跡ルートの整備で、施設の環境整備がテーマになってるが、八十八ヶ所を全部まわるのではなくて、例えば山の中にルートを選び、「健康づくり」の一環で山歩きを兼ねたものができるかと考えている。

また先日、委員から予防医学について話があったが、託麻地区でも飲食店が多く、お客様の中で糖尿病や腎臓が悪い方もいる。そういう方でも食べられるメニューが出来ないかなど、健康をテーマに考えている。先ほどの意見にあったスタンプラリーも、商店街でなにか出来ないか考えている。環境保全ではなく健康づくりの視点で託麻三山を考えていただければと感じている。

○委員

八十八ヶ所の件は、実施する際に東区役所と託麻三山会で個別にまわっている。急遽申し込みがあった際は、手分けして案内している。去年、ウォークラリーがあったが、神園山と小山山を分けて行ったが非常に良かった。時間的にもちょうどムリしない程度で良かった。小山山は、今は竹でふさがっているので、どうかしないといけない。

○委員

区民まつりは年々来場者数も増えているが、東区は18万人いるので、もう少し参加者も増えてほしい。そのためには「食」が少ないと思う。子どもは遊べる場所に集まるので、まつりの中にも子ども達が参加できる場が必要だと思う。

○委員

江津湖の花火大会であるが、東区活性化のチャンスだと思う。経済の活性化、東区のシンボルとなるよう、いいアイデアを出して施策に反映していただきたい。

○会長

次年度以降につながる意見もあったと思う。この意見を参考に事務局と検討させていただきたい。

本日の議事についてはこれで終了する。